

夢なき者に成功なし

教頭 吹野富美夫

「夢なき者に成功なし」の言葉は、「夢なき者に理想なし，理想なき者に計画なし，計画なき者に実行なし，実行なき者に成功なし，故に，夢なき者に成功なし。」の一節で，幕末に現在の山口県萩市で私塾の松下村塾を主宰した吉田松陰のものと伝えられています。

この一連の言葉は，夢を成功へと導く道筋を示しています。

つまり，「夢の実現には理想が必要である。理想の実現には計画が必要である。計画の実現には実行が必要である。実行しない者には成功はない。」ことから，「成功には，夢を理想とし，計画を立て，実行することが必要である。」ことを説いています。

吉田松陰は，松下村塾において学んだことは必ず行いう実学を提唱し，その教育方針により伊藤博文，高杉晋作，前原一誠など幕末から明治期に活躍した多くの人材を育成しました。門下生たちは，「夢なき者に成功なし」の一連の言葉を心に留め，師の亡き後も自分の信じる道を進んで行ったことが推し量れます。

皆さんも，「夢なき者に成功なし」の言葉にある「理想」・「計画」・「実行」について見つめ直し，特に計画を策定した上で，その計画に従って実行し，継続させてください。幕末から明治期に活躍した先人たちも同じ道を歩んだはずです。

平成 29 年 8 月 4 日